

【やりとりと判定の実例：B1 ◎】

<ロールカード>

日本人の友だちに、あなたの国の有名な料理について聞かれました。
 どんな料理なのか、どうやって作るのかなど、友だちに詳しく説明してください。

T：テスター、S：受験者

はつわれい 発話例	はんてい こんきよ 判定の根拠
<p>S：<…略…>特に有名なのは、タラトゥール。 T：タラトゥール。 S：という、ヨーグルトで作られたスープです。 T：へえ、どんな料理ですか。 S：えー、食べたことないんですか。 T：ないんです。 S：そうですね、まあ、タラトゥールというのは、やはり、まあ夏、夏のときによく食べている料理ですが。まあ、冷たいスープで、あの、ヨーグルトときゅうり、と、まあ好きな調味料で、つく、つくります。① T：へえ、見たことがないので、ちょっと想像がつかないんですけど、どんなものですか。 S：そうですね。まあ日本では、飲むヨーグルトとかはあるんですけども、甘いものですね。でブルガリアの場合は、ヨーグルトは甘いものとして食べてるだけでなく、よくスープに作ったり、あのう、まあちょっと、お水と塩で、まあ飲んだりすることが多いんですが、あのう今、あのう、まあよく作られているのは、先ほども、あの言ったタラトゥールというスープで、あのう、夏の時はとてもさっぱりした味です。② T：冷たくして。 S：そうですね。で作り方としては、あのう、まあ、まずはきゅうりを、まあできるだけ小さく切って、んー、そして、あのうヨーグルトに、少しかだけオリーブオイルとかを入れて、で、あとは、あのう、お水を入れるんですけども、それも好みによります。もし、あのう、もうちょっと水っぽいの、いいようでしたら、まあ水を多めに、入れるんですけども、私の家族では、まあやはり、もうちょっと濃い味が、いいと、まあ父が思っているんで、いつも、もうちょっと、水は少なめにしています。③</p>	<p>①料理の名前と食べ方、材料を伝えられる ②日本と自国での食べ方の違い、味の説明が聞き手に充分伝わる ③④作り方、食べ方が詳しく説明できる。 ながはな つづ 長く話し続けられる</p>

<p>T: それ、全部<small>ぜんぶ</small>混ぜ<small>ま</small>るんですか。</p> <p>S: はい、全部<small>ぜんぶ</small>入れて<small>ま</small>混ぜ<small>ま</small>るんです。で、あのう、まあ父<small>ちち</small>がよくやっ<small>ち</small>ているのは、あのう、全部<small>ぜんぶ</small>混ぜ<small>ま</small>ぜたら、上<small>うへ</small>にちょっと<small>ち</small>ディル④</p> <p>T: ギル。</p> <p>S: ディル。</p> <p>T: ディルって<small>なん</small>ですか。</p> <p>S: ディルは調味料<small>ちようみりよう</small>。ハーブ<small>つか</small>なんです<small>が</small>、ブルガリア<small>は</small>ではよく使<small>つか</small>われています。で、あのう、ディル<small>と</small>くるみ<small>を</small>、をちょっと<small>ち</small>だけ<small>い</small>入<small>い</small>れると、まあ味<small>あじ</small>が結構<small>けつこう</small>おいしく<small>おも</small>なる<small>と</small>思<small>おも</small>います。⑤< 略 ></p>	<p>⑤付加情報<small>ふかじょうほう</small>の説明<small>せつめい</small>ができる</p>
---	--

この例では、タラトゥールという料理りようの特徴とくちよう、材料ざいりよう、食たべ方かたを詳しく説明くわ (①②) しています。作り方つくかたについても、詳しく説明くわ (③④) することができます。また、ディルという調味料ちようみりようを加くわえらるとさらにおいしくなる情報じようほうも付け加くわえて説明せつめいしています。テスターからの質問しつもんには、別の言葉べつことばで言い換いえて、分わかりやすかんく簡潔たいおうに対応いじようしています (④⑤)。以上のことともから、「友だちくわに詳しく説明せつめいする」というタスクは充じゆうぶん分に達たっせい成はんていしているとみなし、◎と判定はんていします。